



梅雨、初夏、高温期の ネギ病害防除

今回は梅雨の時期に入る前に、梅雨、初夏、高温期の時期に発生しやすいネギの病害防除について説明します。

■べと病

・生態、特徴
発生初期は圃場に中心葉だけが黄化した株が坪上に発生します。水により感染するので、降雨、霧の発生後に被害が増えます。

・防除のポイント
降雨の多い時期、湿度が高い圃場は予防を徹底します。発生を確認したらすぐに治療剤を散布する。霧、もやの発生にも注意しましょう。

■黒斑病

・生態、特徴
空気伝染をし、残渣中で生き残り、次の伝染になります。比較的高温、多湿を好み、梅雨に発生しやすいです。肥料切れなどで草勢が劣ると多発します。

・防除のポイント
あらかじめ薬剤散布をして発生を防ぎ、適切な肥培管理を行いましょう。

■さび病

・生態、特徴
橙黄色のやや隆起した小型の斑点が生じます。表皮が破れて、橙黄色状の胞子が飛散し、感染が拡大します。

・防除のポイント
あらかじめ薬剤散布をして発生を防ぎます。病勢が急な場合は治療効果が期待できる薬剤を用いましょう。

■軟腐病

・生態、特徴
病原菌は土壌中で長く生存します。農作業や害虫の食害痕、台風などにより傷がついた所へ、降雨時の飛沫とともに飛散し感染します。

・防除のポイント
台風や豪雨後の殺菌剤の散布を徹底する。毎年発生がある圃場については連作を避けるか土寄せ時に予防的に殺菌剤を処理しましょう。

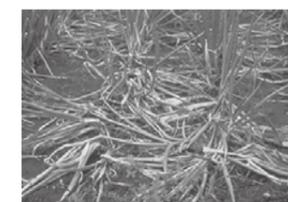
■白絹病

・生態、特徴
高温、多湿時に発病が多くなります。発生時の菌核は浅い土壌中で越冬し、作物の地際部から侵入して発病します。

・防除のポイント
圃場の排水対策を行い、土壌の過湿状態に注意しましょう。土寄せ作業と併せて防除を行いましょう。



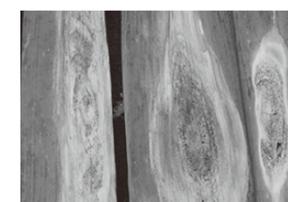
白絹病



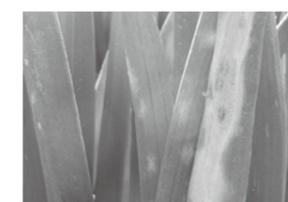
軟腐病



さび病



黒斑病



べと病

登録農薬一覧 (希釈倍数、使用時期、使用回数)

べと病	Zボルドー (500倍、－、－) アリエッティ水和剤 (800倍、3日前まで、3回以内) ダイナモ顆粒水和剤 (2000倍、3日前まで、4回以内) メジャーフロアブル (2000倍、前日まで、3回以内) ランマンフロアブル (2000倍、3日前まで、4回以内)
さび病	アフェットフロアブル (2000倍、前日まで、2回以内) アミスター20フロアブル (2000倍、3日前まで、4回以内) カナメフロアブル (4000～8000倍、前日まで、4回以内) シグナムWDG (1500倍、7日前まで、3回以内) メジャーフロアブル (2000倍、前日まで、3回以内)
軟腐病	Zボルドー (500倍、－、－) クプロシールド (1000～1500倍、－、－) ジーファイン水和剤 (1000倍、前日まで、－) スターナ水和剤 (2000倍、7日前まで、3回以内) ヨネポン水和剤 (500倍、7日前まで、4回以内)
黒斑病	アフェットフロアブル (2000倍、前日まで、2回以内) ジマンダイセン水和剤 (600倍、14日前まで、3回以内) ダコニール1000 (1000倍、14日前まで、3回以内) ファンタジスタ顆粒水和剤 (3000倍、7日前まで、3回以内) メジャーフロアブル (2000倍、前日まで、3回以内)
白絹病	アフェットフロアブル (1000～2000倍、生育期但し収穫14日前まで、2回以内) カナメフロアブル (4000～8000倍、前日まで、4回以内) セイビアーフロアブル (1000倍、前日まで、3回以内) メジャーフロアブル (2000倍、前日まで、3回以内) ロブラール水和剤 (500～1000倍、14日前まで、3回以内)

※ 農薬の使用にあたってはラベルをよく読み使用基準（適用作物、希釈倍数、使用時期、10a 当たりの使用量、総使用回数）を厳守しましょう。